



和室にておもしろいお茶を楽しみます

茶茗館で名残りの月見を楽しむ 名残の月見会が開催されました

静風流長塚社中（代表：長塚幸子さん）と茶茗館プロジェクトチーム共催の名残の月見会が10月11日、茶茗館の和室で開かれました。日本独特の風習である十三夜の月を愛でるこの催しは、今年で2回目を迎えます。雨上がりの秋の夜に、十三夜の月が美しい姿を見せる中、詩吟や俳句、お茶会を楽しみました。参加者は「風情のある良い時間を過ごせた。来年も友達を誘い参加したい」と話していました。

ゴミの減量に取り組んで欲しい 環境保護に向けた女性の会活動



写真右：鈴木洋子さん、左：池下八重子さん、小長井にて

女性の会が9月中旬、町内のごみ集積所に「ごみ減量化推進」に向けた啓発プレートを取り付けました。会では今年、環境保護活動に力を入れており、緑のカーテンの普及活動や、ごみ処理場の視察などを積極的に実施しています。会員に企画の意図を尋ねると、「地域のためになることを考えた。まずは家庭ごみの減量が必要だと思った」と話していました。今回設置された啓発プレートは、町全域で123カ所にのぼります。



幻想的な光が温泉街を照らします 10月15日の様子

温泉街の夜をほのかに照らす灯り 寸又峡和紙のあかり展にぎわう

和紙のあかり展in寸又峡実行委員会主催の『和紙のあかり展』が10月15日に始まりました。15日夕方に開かれたオープニングセレモニーでは、望月孝之委員長が「今年のあかり作品は約180点。町内外から多くの作品が集まり、寸又峡温泉の風物詩として定着してきたと感じている。これから17日間、観光客の皆さんにも、地元の皆さんにもおいでいただけるよう周知に努めたい」とあいさつしました。公募により全国から集まった約180点の作品は、寸又峡温泉街の歩道や旅館の玄関先に、約600mに渡って展示されました。和紙越しの柔らかな光が、訪れた人々の足を照らしていました。期間中、「温泉街では極力電灯の光を抑え、作品が際だつように配慮した」と地元の方は話しています。山々に囲まれた漆黒の闇の寸又峡に、和紙の持つ柔らかさ・美しさが風情をより引き立たせ、「癒し」「懐かしさ」を演出。幻想的な雰囲気寸又峡温泉街にもたらしめています。作品は、どれもすばらしい力作ばかり。さまざまな造形美とほのかな灯りが楽しめました。この「あかり展」は、10月31日まで開催されました。

珠算検定で9人が合格おめでとう 商工会から珠算検定合格者紹介

都道府県商工会連合会及び全国商工会連合会主催による第150回商工会珠算検定が9月21日、川根本町商工会の2階で実施されました。今回の試験には19人が受験。どの生徒も真剣な表情でそろばんを弾いていました。試験の結果、9人の生徒が合格しました。合格された皆さんおめでとうございます。合格者は次の通りです。

合格者名簿（敬称略・受験番号順）

- ▶ 2級合格者：鈴木里奈（本中2年）
- ▶ 3級合格者：湯下大規（中中1年）
- ▶ 4級合格者：森 隆弥（中川根南部小6年）
- ▶ 5級合格者：中村優希（中川根南部小4年）
栗原弘太（中川根南部小4年）
- ▶ 6級合格者：気田瞬介（中川根南部小4年）
- ▶ 7級合格者：柳原真帆（中川根南部小5年）
- ▶ 8級合格者：三倉 怜（中川根南部小3年）
前田将貴（中川根南部小3年）



伝統の舞の数々が繰り広げられました 神饌の舞

江戸時代の初期に定着した神事 徳山神楽おごそかに奉納される

始まりが仁和4年（西暦888年）とも伝えられる徳山神社の神事芸能「徳山神楽」が10月12日、徳山神社の拝殿に設けられた神楽殿において、徳山神楽古典芸能保存会と地元小中学生により奉納されました。優雅に舞う「四座の舞」、女郎と翁に扮した2人が掛け合いながらユーモラスに舞う「宇受売・翁の舞」、燃える松明（たいまつ）を両手に持って勇壮に舞う「火の舞」など15の舞が次々と繰り広げられ、町内外から訪れた大勢の観客を魅了しました。

交通ルールを守って安全運転を 高齢者対象の交通安全教室実施

役場、島田警察署共催の高齢者交通安全教室が10月24日、地名集会所で開かれました。この教室は、もみじマークの高齢ドライバーが正しい運転技術を身に付け、交通事故を未然に防ぐため実施されています。当日は、地名地区の楽友会会員55人と、島田警察署および地元駐在所の警察官、交通指導員などが参加し、会場内に設置されたテストコースで実習、安全運転を学びました。参加者から「慣れている操作でも再度確認する必要がある」などの感想が聞かれました。



警察官・指導員の指導の下で交通安全を学びました



蜂蜜の甘さにビックリ 巣から直接なめてみました

甘～いはちみつを堪能しました やまびこ応援団はちみつ取り

やまびこ応援団主催の「日本蜜蜂の蜜取り体験は9月27日、接岨地区で実施されました。町内外から集まった参加者約30人は資料館に集合し、河原石に自由に絵を描く「河原石アート」を楽しみました。おにぎりや七福神などユニークな作品ができあがりました。その後民宿接岨に移動。望月泰典さんの手で巣箱から取り出された蜂の巣には蜜がたっぷりつまっています。みんなでパンに塗って味わいました。その甘さに、どの参加者からも驚きの声が上がりました。